

2019年7月2日

DENSO KOBELCO SARD LC500 第4戦タイ、健闘の5位フィニッシュ



SUPER GT 第4戦タイレポート

2019 SUPER GT 第4戦「Chang SUPER GT RACE」(6/29-30)

チャン・インターナショナル・サーキット(1周4.554km)

入場者数：予選10,618名、決勝20,282名 合計30,900名

6月30日(日)、シリーズ唯一の海外戦で今季前半戦の締めくりとなるSUPER GT第4戦「Chang SUPER GT RACE」の決勝が行われ、11番グリッドから発奮興起して勝利を目指していったDENSO KOBELCO SARD LC500は、スタート担当のハイキが序盤から積極的に攻めて順位を上げていき、インラップ～ピットワーク～アウトラップの一連の流れで、一時3位を走行する快走。表彰台圏内確保して後方との差を拡げていたが、38周目セーフティカー(SC)導入で差が無くなる不運で、SC後のリスタートでペースの速い2台にかわされてしまう。だが最後は中山が後方からの追い上げを振り切って、健闘の5位フィニッシュとなった。

ドライバーポイントでは6点を獲得(計20点)でランキング7位、チームポイントでは9点を獲得(計32点)して1つ順位を上げランキング5位となった。次戦、JGTC時代から数えてGT参戦200戦目となる第5戦は約1ヶ月後となる8月3日(土)・4日(日)に富士スピードウェイにて500マイル(約800km)レースとして開催される。

■公式練習走行

第2戦富士、第3戦鈴鹿とあと一歩で表彰台といった戦いを繰り広げているDENSO KOBELCO SARD LC500。約1ヶ月のインターバルで行われる今季前半戦の締めくりとなる第4戦は、シリーズ唯一の海外戦でタイ・バンコクから東北東約400kmに位置する「チャン・インターナショナル・サーキット」(プリラム県)が舞台。コースは高低差が無くフラットでメインスタンドから見渡せ、右回り4.554kmのストップアンドゴーセクションと高速コーナーを複合させたテクニカルでチャレンジングなレイアウト。ピットはオートポリスと同じコース外側に位置し、左側からの給油となる。プリラムのこの時期は雨季であり、朝晩にスコールが降り湿気も多く、最高気温33度・最低気温25度ぐらいとはほぼ日本の夏と同様。公式予選はノックアウト方式(Q1、Q2)で行われ、決勝は現地15時スタート(日本時間17時)の300km(66周)で、ピットストップは1回。ウェイトハンディは現獲得ポイントの倍となる28kgを搭載する。



©LEXUS TEAM SARD

ここまでチームランキングで6位ながら上位とのポイント差は少なく、ここで勝利しトップを捉えて前半戦をしっかりと締めくりたいところ。シリーズ前半は予選で苦戦を強いられてきたが、決勝でのクルマの速さと強さは遜色なく、非常に拮抗しているため、暑さや天候などの波乱要素をチーム力で乗り切っていければ勝機は見えてくる。昨年は熾烈なトップ争いを制して勝利を飾ったタイラウンド。昨季再来となるタイ2連勝を狙い、チーム一同、発憤興起して勝利を目指していった。

29日（土）午前中の公式練習走行は、曇りがちでタイ特有の高温多湿が若干和らいている気温30度/路面温度35度の中で10時から混走セッションが開始された。まずはヘイキがソフト系ドライタイヤを装着して、タイヤの評価を7周確認。続いてハード系タイヤを装着して7周比較と、いつも通りの手順を踏むプログラム。ハード系タイヤ装着時にリアのバランスを調整。その後、20周目から中山がヘイキが確認した2種類のユーズドタイヤを装着してクルマとタイヤの確認を行った。35周目から中山がソフト系タイヤでアタックシミュレーションを実施と順調に予選の準備を進めていった。この混走セッションはヘイキがマークした1分25秒619の13番手に。10分間のGT500単独セッションでは、再びヘイキがステアリングを握ってアタックシミュレーションを実施し、1分24秒473とタイムを更新するも11番手タイムとなった。公式練習走行ではトータル45週の走り込みとなったが、若干バランスに悩む状況でQ1に向けては更なるデータを分析して対策を施すこととなった。

■公式予選

■Q1：ヘイキが健闘するもQ2進出ならずの11番手



29日（土）Q1開始時点で気温33度/路面温度39度と、例年よりは暑さが和らいている中、残り7分でコースイン。今回Q1アタッカーを任されたヘイキは、ハード系タイヤを選択。コースイン早々からペースを上げていき、3周目にアタックに入ったヘイキはセクター1で20秒前半の好タイム、セクター2で31秒台、セクター3も32秒台と、チェッカーまで残り1分半となった時点で、1分24秒406のトップタイムをマーク。まだタイムは伸びると続いて4周目もアタックを敢行してコンマ1秒削る1分24秒327と健闘みせるも、小さなパーツに不具合があり不安定な状態でのアタックとなってしまう、他車にかわされて11番手となった。

■決勝

■ウォームアップ走行

30日（日）は、サーキットサファリ後の13時25分から設定されたスタート前20分間のウォームアップ走行は、気温32度/路面温度46度のコンディション。今回スタート担当のヘイキが決勝第2スティント用のタイヤをまずは皮むき。次に決勝スタートタイヤと同じ種類のユーズドタイヤに交換して計8周を走り終えピットイン。交代した中山は、5周ほど決勝セットの確認走行を実施。トータル13周を走行し1分26秒000の5番手タイムで決勝への準備を整えた。

■決勝レース

第1スティント：ヘイキが大きく順位を上げる闘志の走り

30日（日）灼熱の日差しが照りつける快晴となった15時決勝スタート時点は気温33度/路面温度48度に。11番グリッドから発奮興起して勝利を目指していったDENSO KOBELCO SARD LC500を駆る、スタート担当のヘイキが序盤から積極的に攻めて4周目には8位にポジションアップ。さらに15周目に前を塞がれていた格好の17号車をかわずとトップペースで追い上げ、上位陣とのギャップを削る快走をみせた。その後ライバル勢がピットインをし始めるとスティント最後の猛プッシュで、追い込みをかける闘志あらわに攻めた走りを披露し、暫定3位でピットインとなった。



第2スティント：中山が粘りの走りでポジションキープ

素早いピット作業で中山を送り出すと暫定トップ6号車の前でコースインと一気にジャンプアップ。インラップ～ピットワーク～アウトラップの一連の流れで速さを見せるチームワークで順位を押し上げた。タイヤが温まってペースの速いトップ2台にかわされる

も、3位を走行する快走となった。4位とのギャップを拡げていたが、その後38周目にアクシデントによるセーフティカー（SC）導入となり、後方とのマージンを失う不運。SC後のリスタートでペースの速い2台にかわされてしまう。だが最後は中山が後方からの追い上げを振り切って、健闘の5位フィニッシュとなった。



ドライバーポイントでは6点を獲得（計20点）でランキング7位、チームポイントでは9点を獲得（計32点）して1つ順位を上げランキング5位となった。次戦、JGTC時代から数えてGT参戦200戦目となる第5戦は約1ヶ月後となる8月3日（土）・4日（日）に富士スピードウェイにて500マイル（約800km）レースとして開催される。



■ハイキ・コバライネン

「出だし遅れてしまってクルマの不具合もあって予選が11番手と厳しいポジションからスタートであったけど、決勝ではクルマの状態が本来の速さを取り戻して良いペースで走れた。前を攻略するのに時間が取られてしまったけど、上位とのギャップを削っていくことができたよ。さらにピット戦略と素早いピットワークのおかげで、大きく順位を上げられて5位。良い方向に進んでいるので次の富士では期待して欲しい」



■中山 雄一

「決勝では交代してからペースが思うように上げられませんでした。徐々にペースを取り戻して後との差を拡げられ、リスタートで2台にかわされるも、その後順位を守れて貴重な連続ポイントを獲得することができたのは幸いでした。まだ足りない部分がありますが、次の富士に向けて良い準備をしていければと思います。富士は強気で優勝を狙いにいきますので、引き続きのご声援よろしくお願いたします」



■監督 才木 祐二

「厳しい予選ポジションからのスタートでしたが、ドライバーとチーム全員の頑張りですべて11位から決勝5位フィニッシュと大きく順位を押し上げることができました。次の富士戦は、得られるポイントが高く、500マイルの長丁場のレースとなりますので、しっかりとした準備をしていきたいと思っております。引き続きご声援のほどよろしくお願い申し上げます」

■Qualifying Result

Pos.	No.	Car	Driver	Time	WH
1	6	WAKO'S 4CR LC500	大嶋 和也／山下 健太	*R 1'23.260	28
2	19	WedsSport ADVAN LC500	国本 雄資／坪井 翔	*1'23.350	13
3	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	平手 晃平／F.マコヴィッキ	*1'23.455	22
11	39	DENSO KOBELCO SARD LC500	H.コバライネン／中山 雄一	1'24.327	28

*タイムはQ2ベスト 天候：曇り時々晴れ、コース：ドライ

Race Result

Pos.	No.	Car	Driver	Time/Diff	Laps
1	6	WAKO'S 4CR LC500	大嶋 和也/山下 健太	1:44'12.812	66
2	37	KeePer TOM'S LC500	平川 亮/N.キャシディ	+1.236	66
3	19	WedsSport ADVAN LC500	国本 雄資/坪井 翔	+10.249	66
5	39	DENSO KOBELCO SARD LC500	H.コバライネン/中山 雄一	+18.435	66

天候：晴れ、コース：ドライ、4.554km×52Laps

Drivers Ranking

Pos.	No.	Driver	Total
1	6	大嶋/山下	35
2	37	平川/キャシディ	34
3	38	立川/石浦	30.5
7	39	コバライネン/中山	20

Point standings after Rd.4

Team Ranking

Pos.	No.	Team	Total
1	37	Kp.TOM'S	46
2	6	LEMANS	45
3	38	CERUMO	42.5
5	39	LEXUS TEAM SARD	32

Point standings after Rd.4

Partners



情報参照先

● サード公式サイト	: http://www.sard.co.jp
● SARD Facebook	: https://www.facebook.com/SARD.Corporation
● SARD Twitter	: https://twitter.com/LEXUSRACINGSARD
● SARD Instagram	: https://www.instagram.com/lexus_team_sard/
● SUPER GT	: http://supergt.net/jp/

■ 本リリースに関するお問い合わせ先：チーム広報担当：宮本 e-mail: media@sard.co.jp

SARD

株式会社 サード

〒473-0914 愛知県豊田市若林東町上外根50
TEL. 0565-53-1166 FAX. 0565-52-5482

www.sard.co.jp